D534

＊MAM36D＊

LIXIL 折板カーポート サイドスクリーン　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

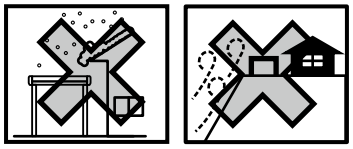
安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
お願い	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
●設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。



●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
●崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
●給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。

お願い

●施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜基礎工事について＞

⚠注意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。

D534_202608E
MAM-036D_202608

＜基礎工事について＞（つづき）

注 意

●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石等を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ（地耐力等）、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
●コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。

お願い

●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
●確認申請による設置の場合は、設置場所･現地地耐力度･設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

＜施工上のご注意＞

注 意

●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●部材の固定
・必ず指定の組立ネジ・ボルトを使用してください。また施工後、ネジ・ボルトにゆるみがないか点検してください。
・端部方立・方立はあて木などを使用して確実にパネルにたたき込んでください。たたき込みが不足すると、パネルの耐風圧強度が低下するおそれがあります。
●水漏れの原因になりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等の原因になりますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ（株）	SE960

●ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
※φ4ネジ ：2.5N･m±0.5N･m（25±5kgf･cm）　※M8ボルト：20.0N･m±0.5N･m （200±5kgf･cm）

お願い

●本製品施工の際は折板カーポート各種取付け説明書を併せてご使用ください。
●取付けは専門業者が行なってください。専門知識のない方が取付けされますと不具合発生の原因となることがあります。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

＜施工の後に＞

注 意

●ボルト、ネジを増し締めしてください。

お願い

●取扱説明書は施主様にお渡しください。

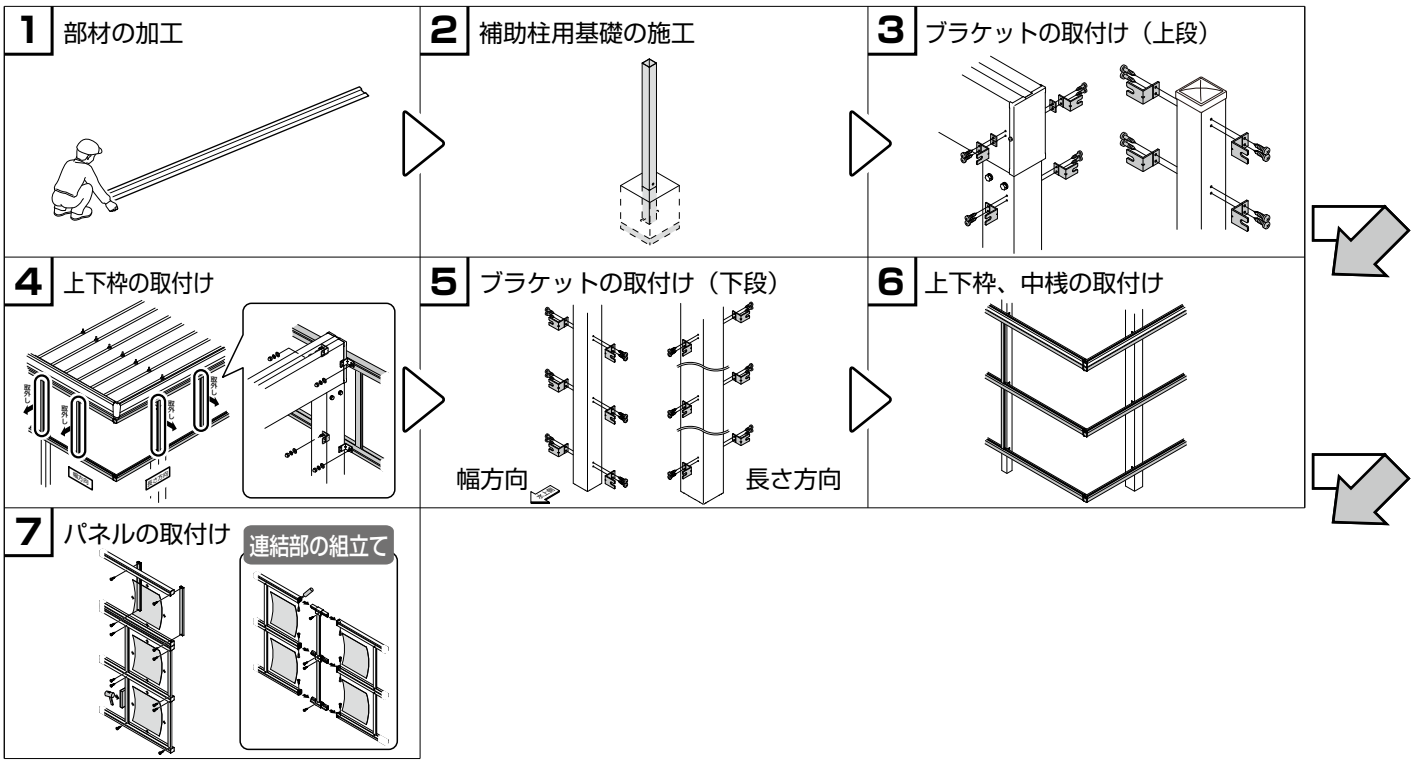
INDEX

表示マーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
施工の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
梱包明細表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1.各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
2.基本寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
2-1幅方向 姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
2-2長さ方向 姿図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
2-3納まり図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
3.水上面戸の取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
4.上段スクリーンの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4-1ブラケットの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4-2上下枠の取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
5.標準（下段）スクリーンの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
5-1ブラケットの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
5-2上下枠、中桟の取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
6.パネルの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
7.コーナーアングルの取付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
8.縦連棟、延長の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
8-1上下枠、中桟の加工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
8-2端部方立、方立の加工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
8-3グレチャンのはめ込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
8-4連結部の組立て・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

表示マーク

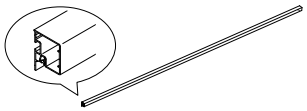
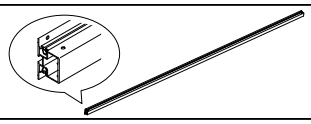
シーリング箇所

施工の流れ

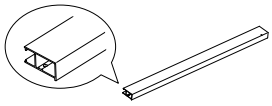
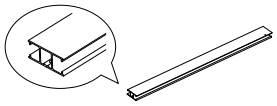


■梱包明細表

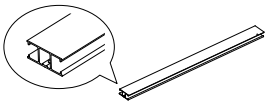
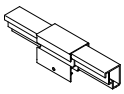
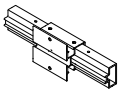
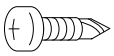
【1】横桟セット

名称	略図	員数											
		1段						2段					
		30用	36用	48用	55用	60用	12用	30用	36用	48用	55用	60用	12用
上下枠		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中桟		–	–	–	–	–	–	1	1	1	1	1	1
グレチャン		–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–	8

【2】方立セット

名称	略図	員数									
		標準				台形		幅上段			
		30用	36用	55用	48·60用	55用	48·60用	30用	36用	55用	48·60用
端部方立		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
方立		3	5	6	7	6	7	3	5	6	7
グレチャン		8	12	14	16	14	16	8	12	14	16

【3】連棟部材セット

名称	略図	員数					
		1段			2段		
		55用	60用	12用	55用	60用	12用
方立		7	8	2	14	16	4
上下枠連結ピース		2	2	2	2	2	2
中桟連結ピース		–	–	–	1	1	1
グレチャン		14	16	4	28	32	8
連結ピース用グレチャン		2	2	2	4	4	4
【3-1】φ4×13ナベドリルネジ		23	23	23	45	45	45

【4】パネルセット

名称	略図	員数														
		標準タイプ						台形タイプ				幅上段				
		30用	36用	48用	55用	60用	12用	55用	60用	12用(55接続)	12用(60接続)	30用	36用	48用	55用	60用
パネル		4	6	8	7	8	2	7	8	2	2	4	6	8	7	8

【5】コーナー部材セット

名称	略図	員数
コーナーアングル		1
【5-1】φ4×25 ナベタッピンネジ4種		11
【5-2】φ4×13 サラドリルネジ		6

【6】ブラケットセット

名称	略図	員数	
		4個入	6個入
ブラケット		4	6
【6-1】M8×16 四角ボルト		4	6
【6-2】M8平座金		4	6
【6-3】M8バネ座金		4	6
【6-4】M8袋ナット		4	6
【6-5】φ4×19 ナベドリルネジ		8	12

【7】組立部品セット

名称	略図	員数			
		1段用	2段用	台形用	幅上段用
横桟端部キャップ		4	6	4	4
すき間隠し材		–	–	4	4
ブラケットスペーサー		–	–	16	–
【7-1】φ4×13 ナベドリルネジ		24	48	24	24
取付説明書 〈D534/MAM-36〉	—	1	1	1	1

【8】水上面戸セット

名称	略図	員数
水上面戸		3
パッキン		1
【8-1】φ4×16 ナベドリルネジ		6

【9】シリコンセット

名称	略図	員数
シリコンコーキング	—	1

1. 各部の名称

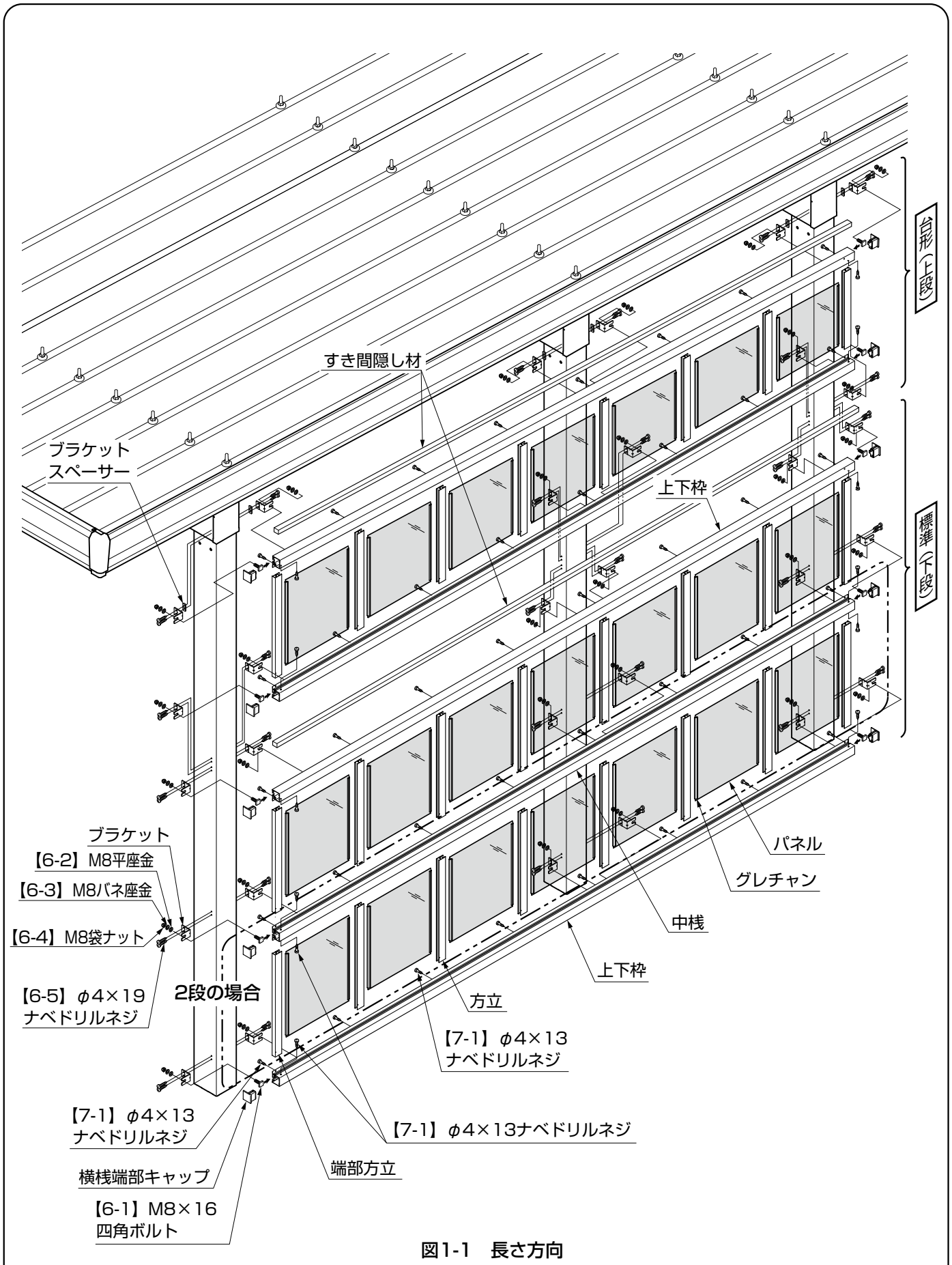


図1-1　長さ方向

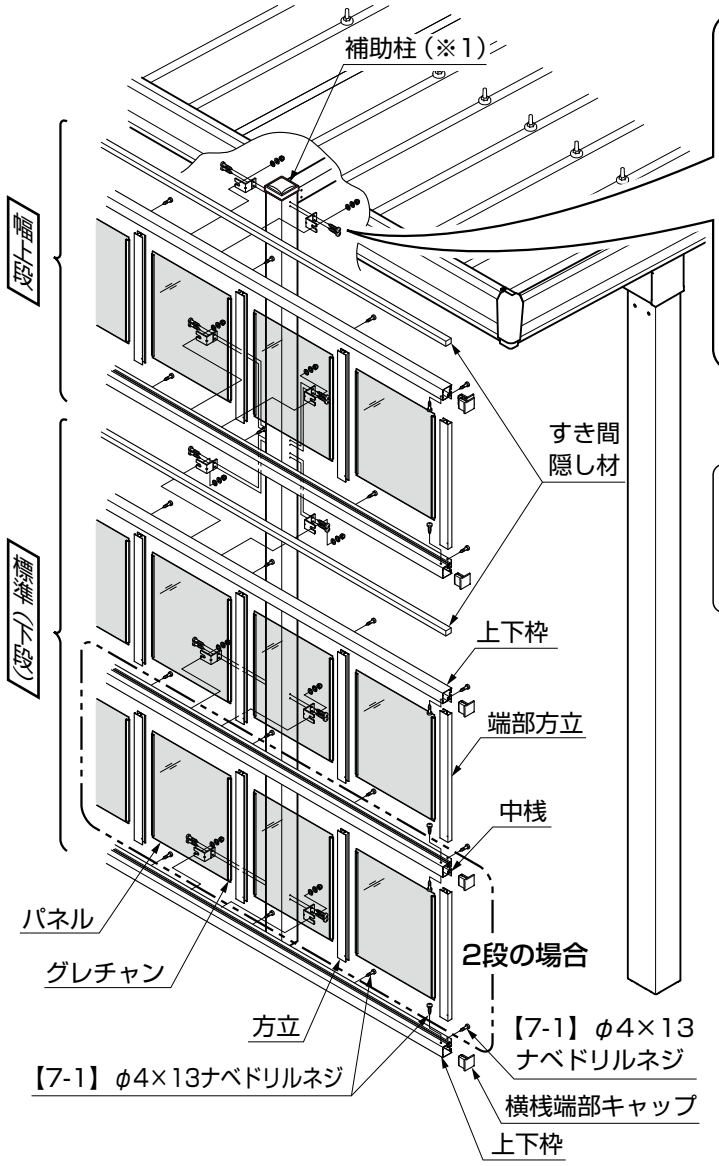
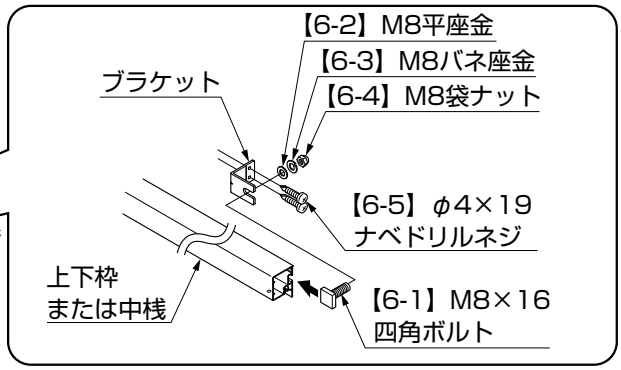


図1-2　幅方向



お願い

●補助柱の取付けについては、「D535/MAM-37 スクリーン補助柱　取付説明書」を参照してください。（※1）

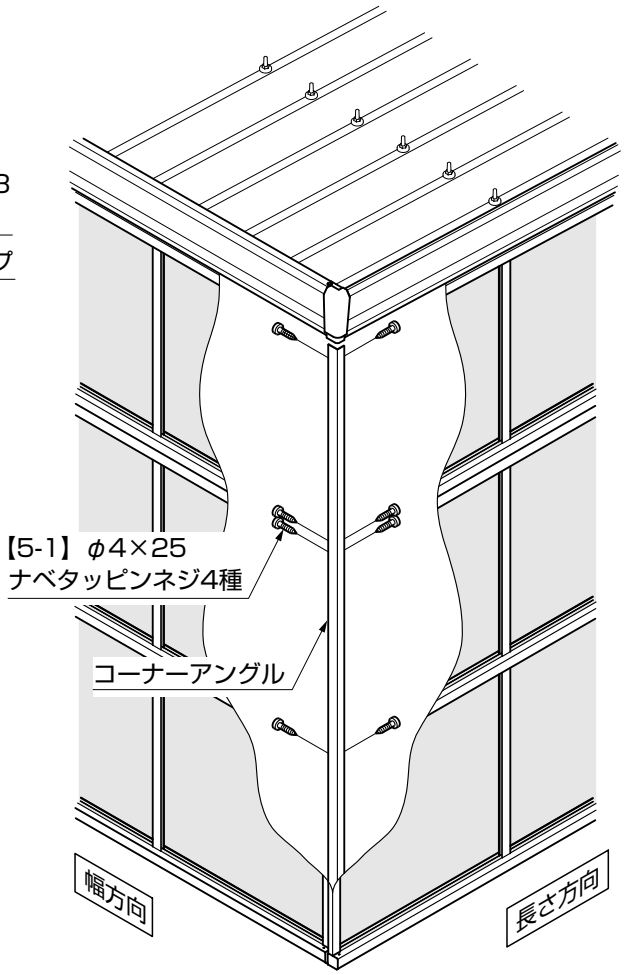


図1-3　コーナー部接続の場合

2. 基本寸法

2-1 幅方向 姿図

※ [ ] 内は幅60サイズを示します。
※〈 〉内はロング柱25、《 》内はロング柱30を示します。

(1) 標準1段

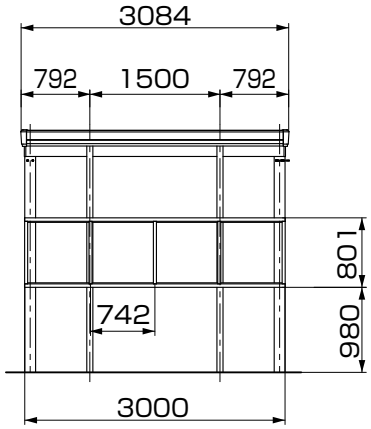


図2-1 1台用（幅30）

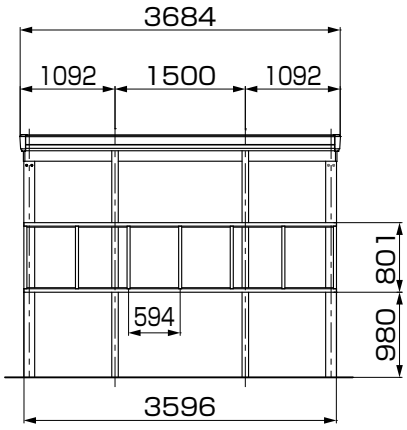


図2-2 1台用（幅36）

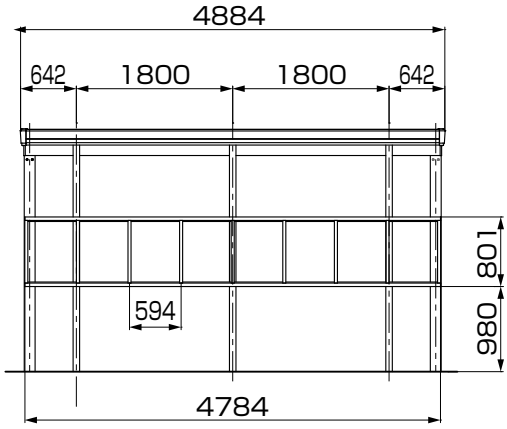


図2-3 2台用（幅48）

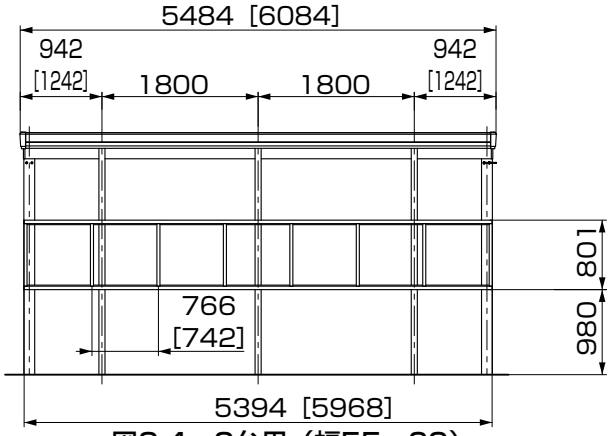


図2-4 2台用（幅55・60）

(2) 標準2段

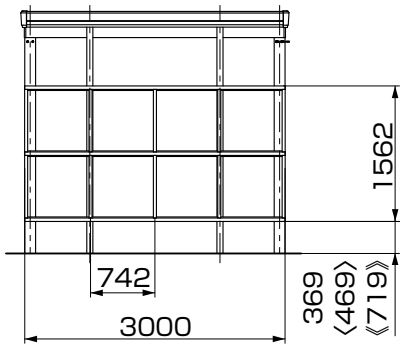


図2-5 1台用（幅30）

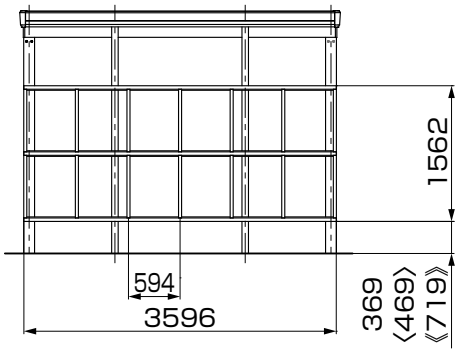


図2-6 1台用（幅36）

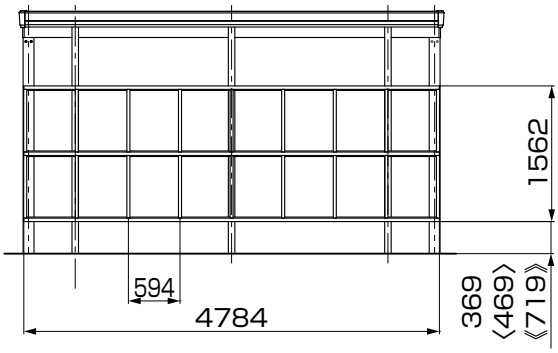


図2-7 2台用（幅48）

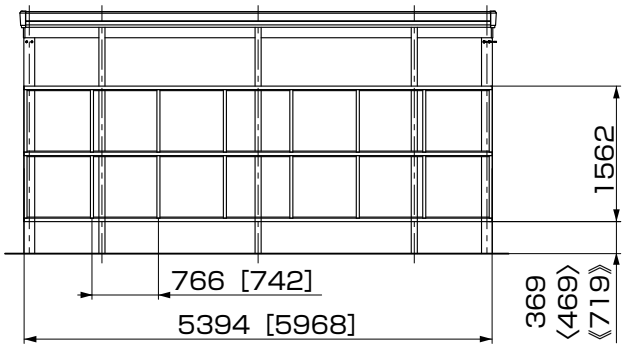


図2-8 2台用（幅55・60）

2-1　つづき

（3）幅上段＋標準1段

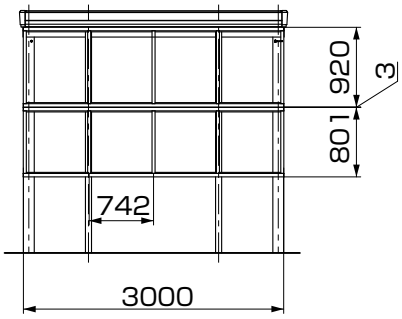


図2-9　1台用（幅30）

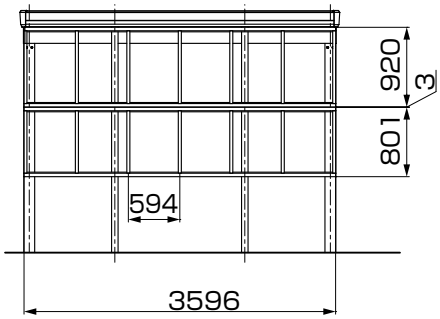


図2-10　1台用（幅36）

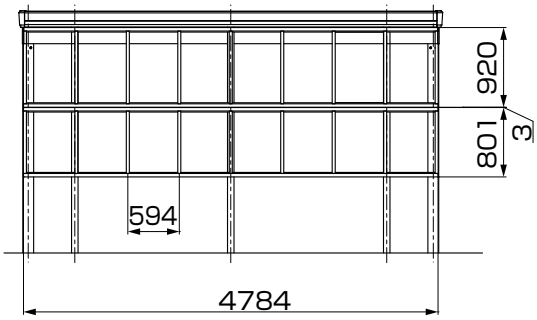


図2-11　2台用（幅48）

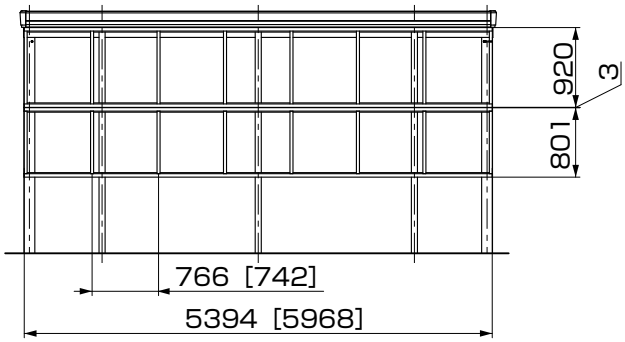


図2-12　2台用（幅55・60）

（4）幅上段＋標準2段

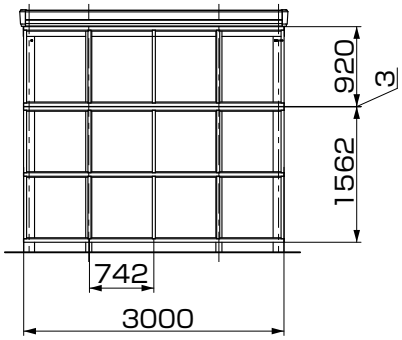


図2-13　1台用（幅30）

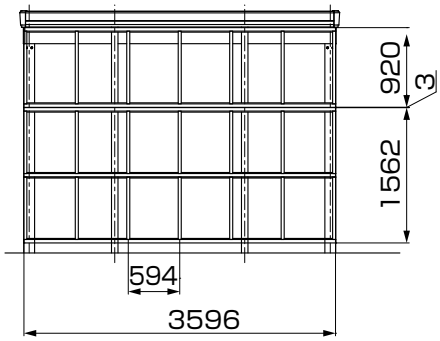


図2-14　1台用（幅36）

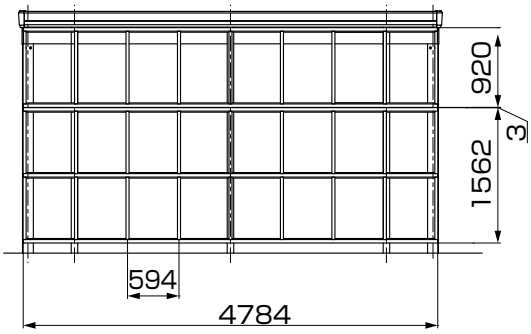


図2-15　2台用（幅48）

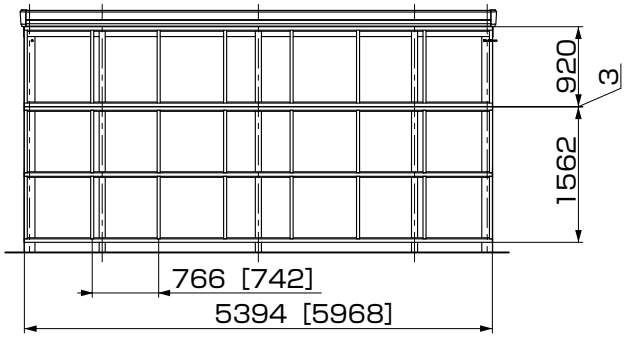


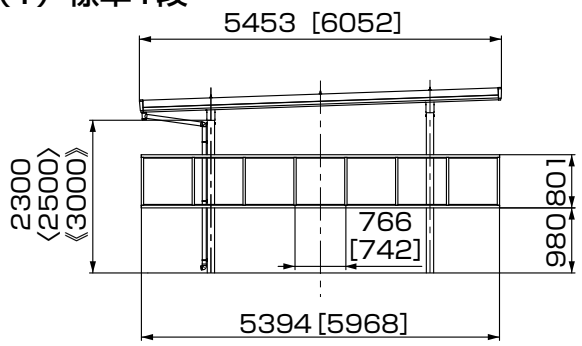
図2-16　2台用（幅55・60）

2.（つづき）

2-2 長さ方向 姿図

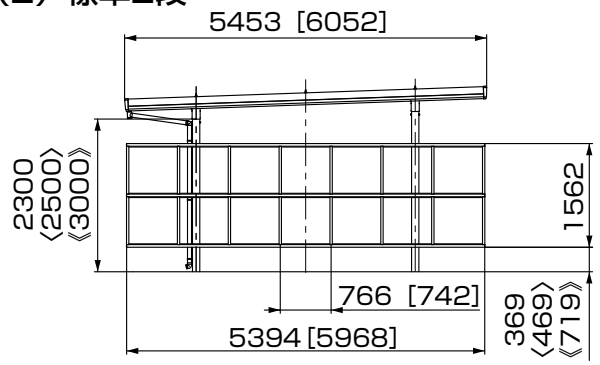
※［　］内は長さ60サイズを示します。
※〈　〉内はロング柱25、《　》内はロング柱30を示します。

（1）標準1段

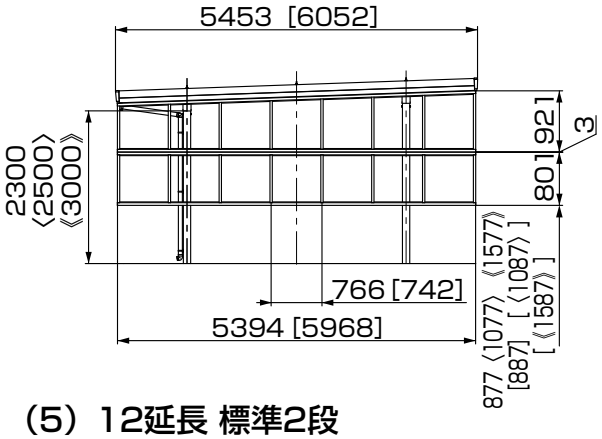


※台形G.L.と下枠下端との寸法は、梁H寸法により異なります。
本図は、梁H240のときの寸法を示します。
梁H135は－105、梁H200は－40 低くなります。
梁H260は+20、梁H280は+40高くなります。

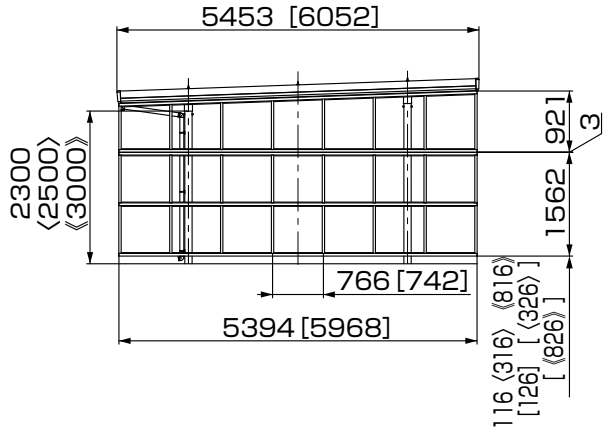
（2）標準2段



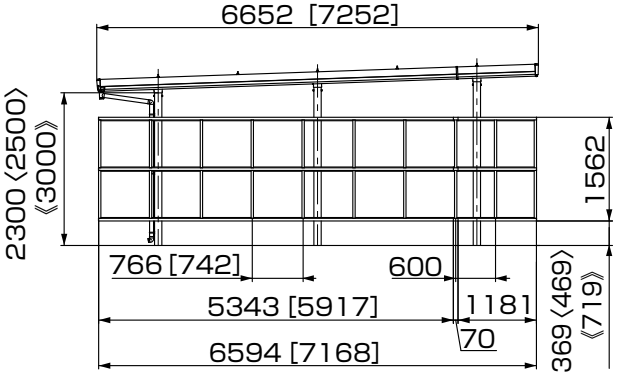
（3）台形＋標準1段



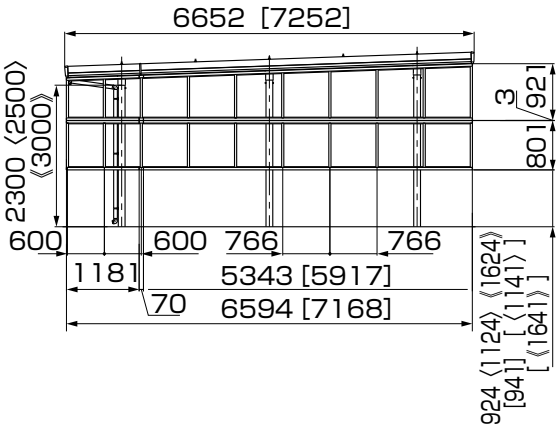
（4）台形＋標準2段



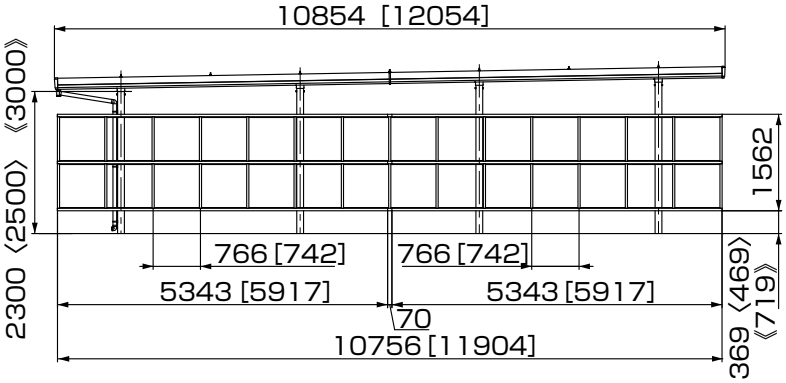
（5）12延長 標準2段



（6）12延長 台形＋標準1段

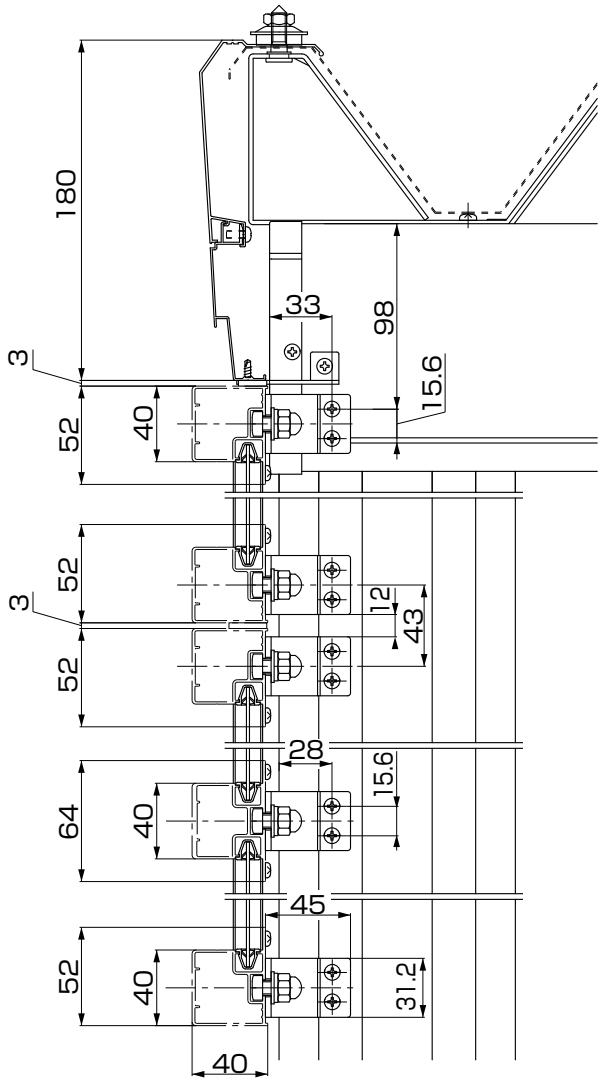


（7）縦連棟

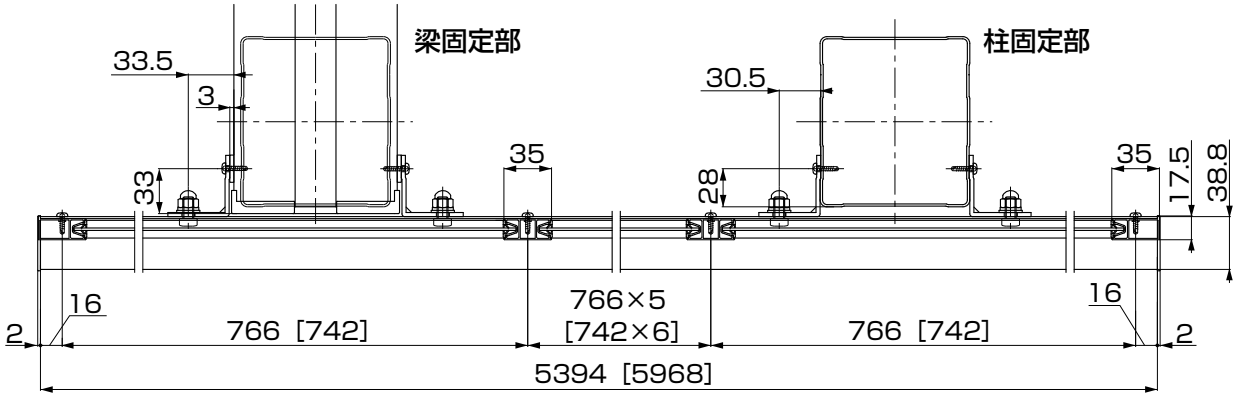


2-3 納まり図

（1）長さ方向 縦断面図

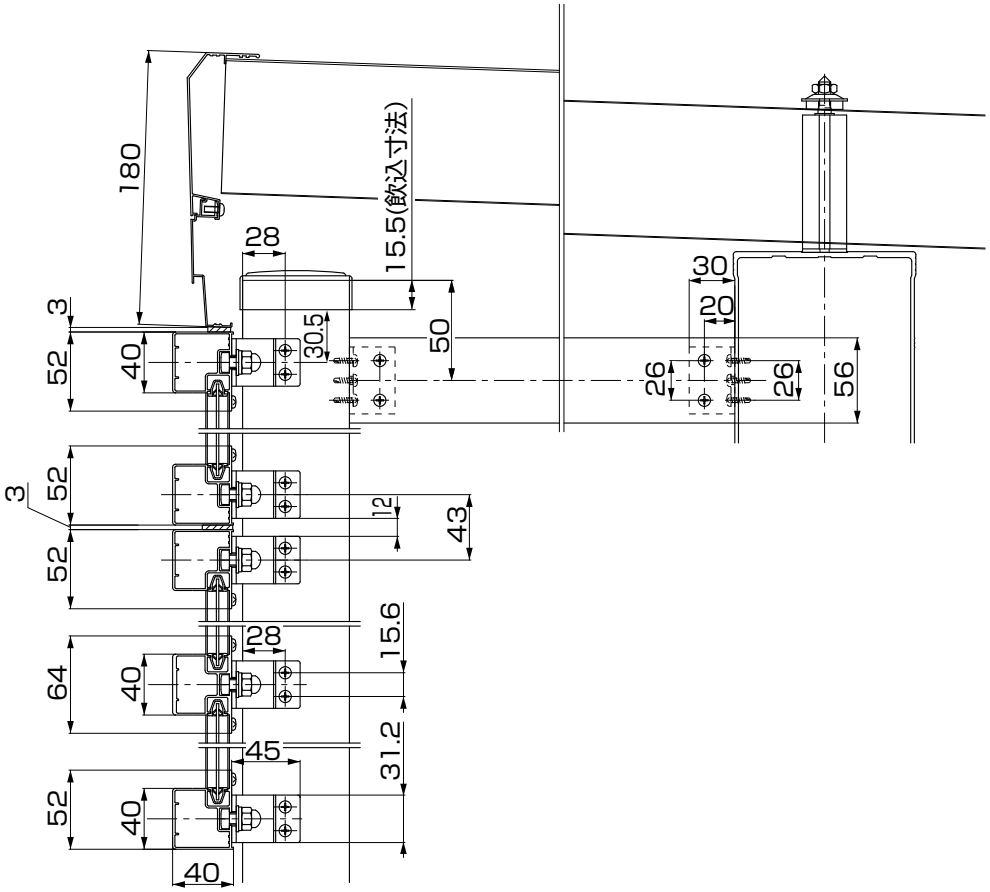


（2）長さ方向 横断面図　※［　］内は長さ60サイズを示します。



2-3 つづき

（3）幅方向縦断面図



（4）コーナー部横断面図　※［　］内は長さ60サイズを示します。

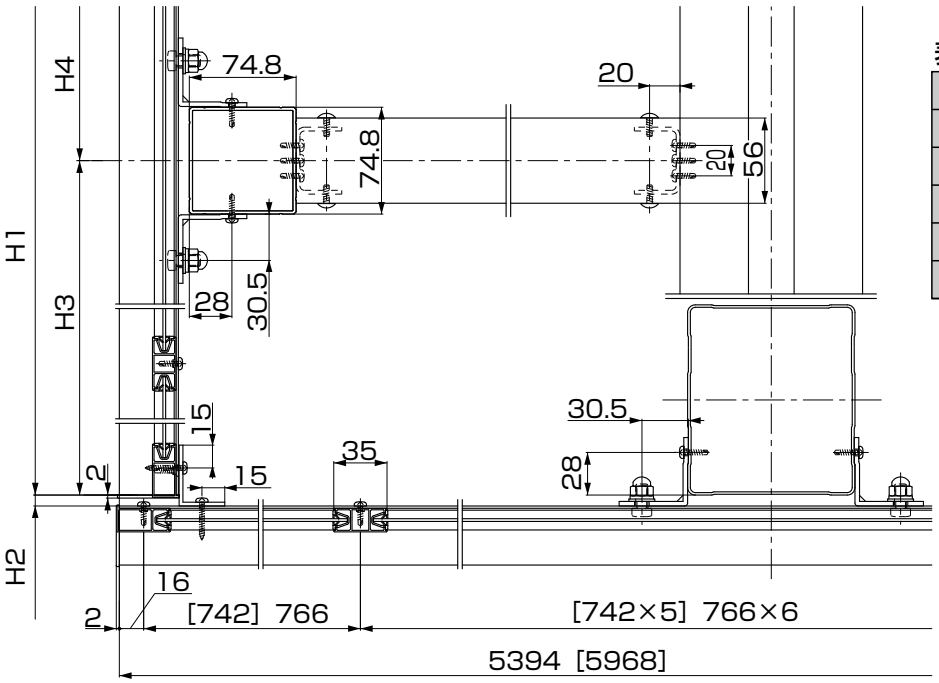
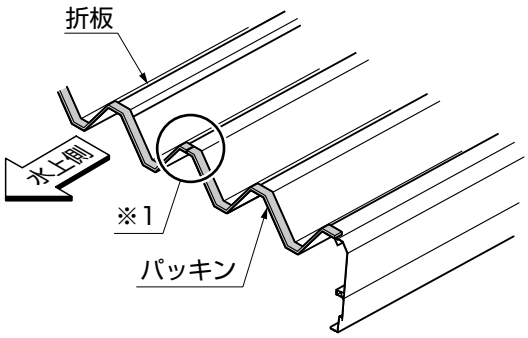


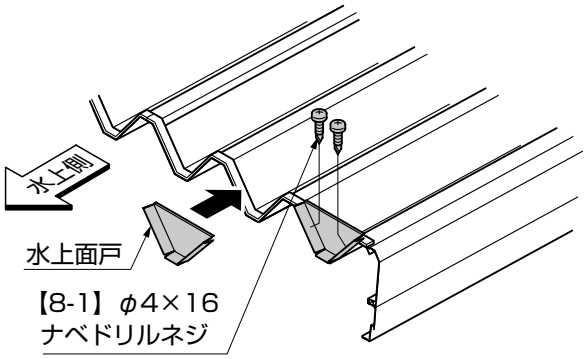
表2-1

幅	H1	H2	H3	H4
30	3000	7.2	750	1500
36	3596	9.2	1048	1500
48	4784	15.2	592	1800×2
55	5394	10.2	897	1800×2
60	5968	23.2	1184	1800×2

3. 水上面戸の取付け

※折板カーポート本体を施工する際に行なってください。
※幅方向上段を囲う場合などにご使用ください。



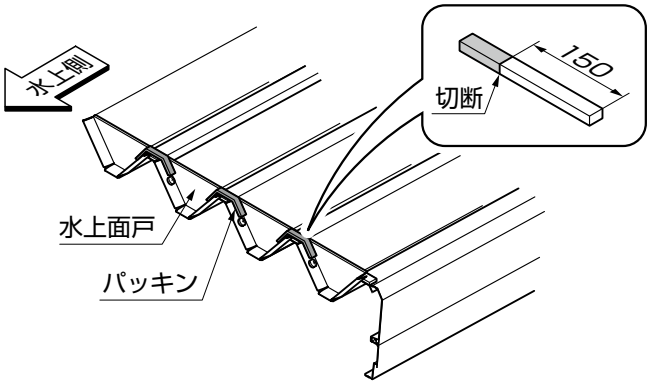


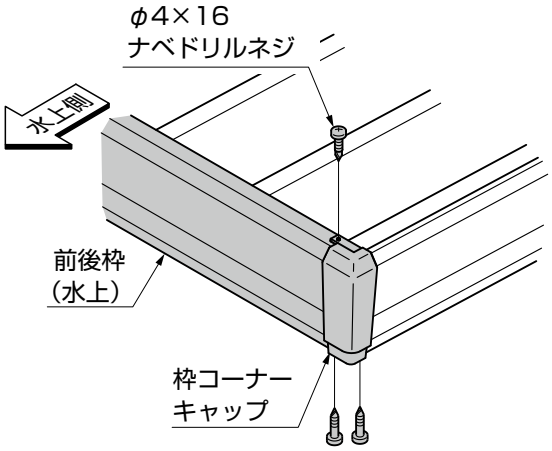
①水上側の折板の端部にパッキンを貼付けてください。

お願い

●パッキンをつなぐときは、折板の山の上で行なってください。（※1）

②水上側の折板の端部に水上面戸をはめ込み、奥まで押込んでください。
③水上面戸を折板に【8-1】で固定してください。



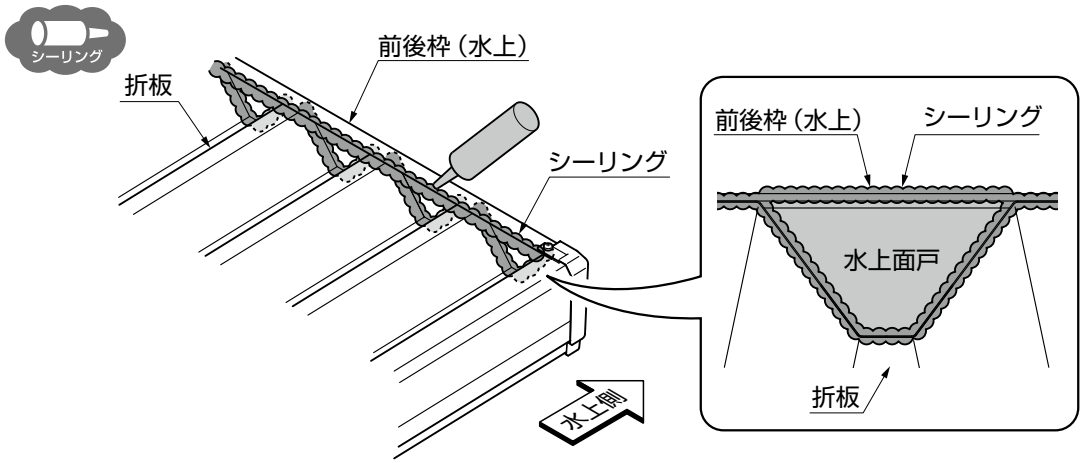


④パッキンを150mmに切断してください。
⑤水上面戸、折板にパッキンを貼付けてください。

お願い

●パッキンは水上面戸のコーナーに合わせて貼付けてください。

⑥カーポート本体の前後枠と枠コーナーキャップを【φ4×16ナベドリルネジ】で取付けてください。



⑦水上面戸と折板、前後枠（水上）の継ぎ目にシーリングをしてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

4. 上段スクリーンの取付け

4-1　ブラケットの取付け

（1）長さ方向

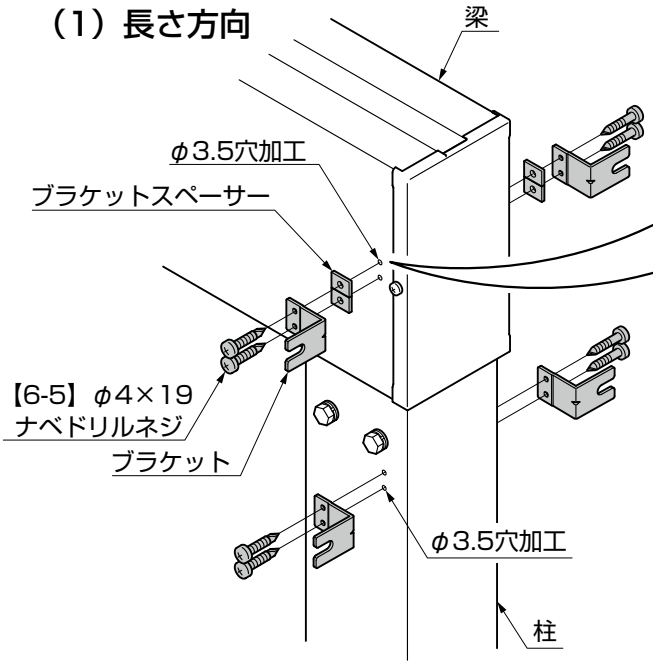


図4-1　角柱の場合

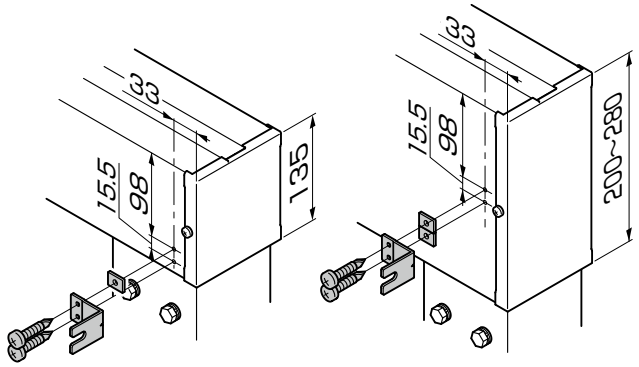


図4-2
梁高さ135

図4-3
梁高さ200～280

お願い

●図4-2、図4-3は梁の水上側の加工寸法です。梁の水下側は、梁上面より105mmの位置に加工してください。（図4-5参照）

●縦連棟の場合は101mmの位置に加工してください。（※）

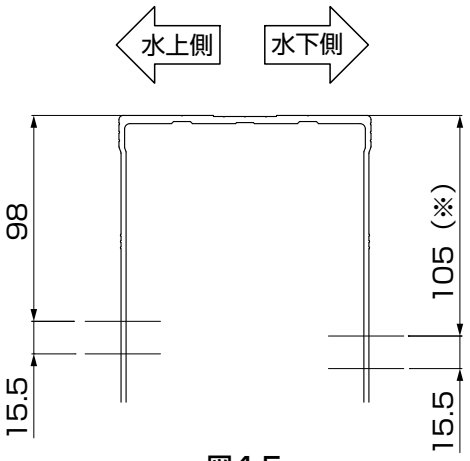


図4-5

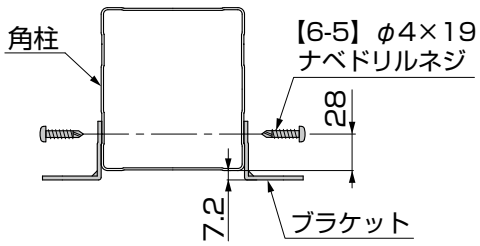


図4-4　角柱用ブラケット取付け位置

①梁、柱の側面にφ3.5の穴加工をしてください。
②ブラケットスペーサーを梁に取付けるブラケットに貼付けてください。

お願い

●ブラケットスペーサーは梁高さ135の場合1個ずつ、梁高さ200～280の場合2個ずつ使用します。

③ブラケットを梁、柱に【6-5】で取付けてください。

お願い

●下側のブラケット取付け高さについては上段スクリーンを仮組みして位置出ししてください。
（「4. 上段スクリーンの取付け　4-2　上下枠の取付け　（2）上下枠の取付け」参照）

（2）幅方向

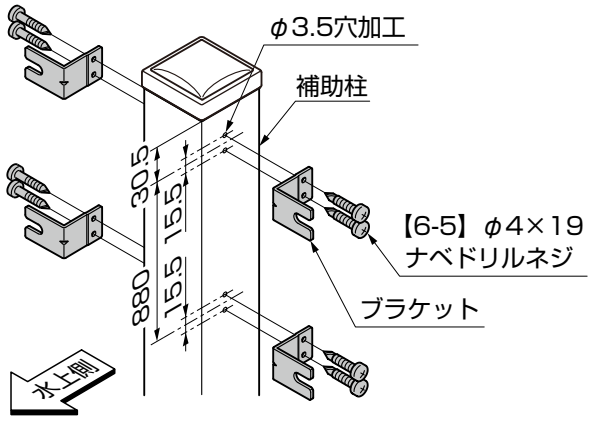


図4-5

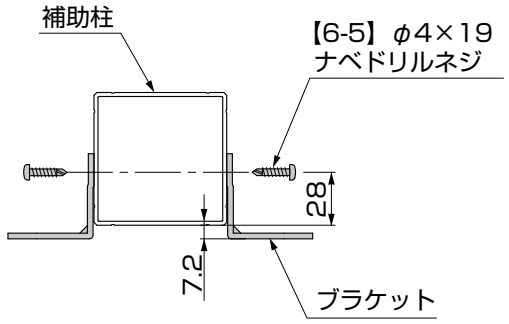


図4-6　補助柱用ブラケット取付け位置

①補助柱の側面にφ3.5の穴加工してください。
②ブラケットを補助柱に【6-5】で取付けてください。

4-2　上下枠の取付け

（1）上下枠の組立て

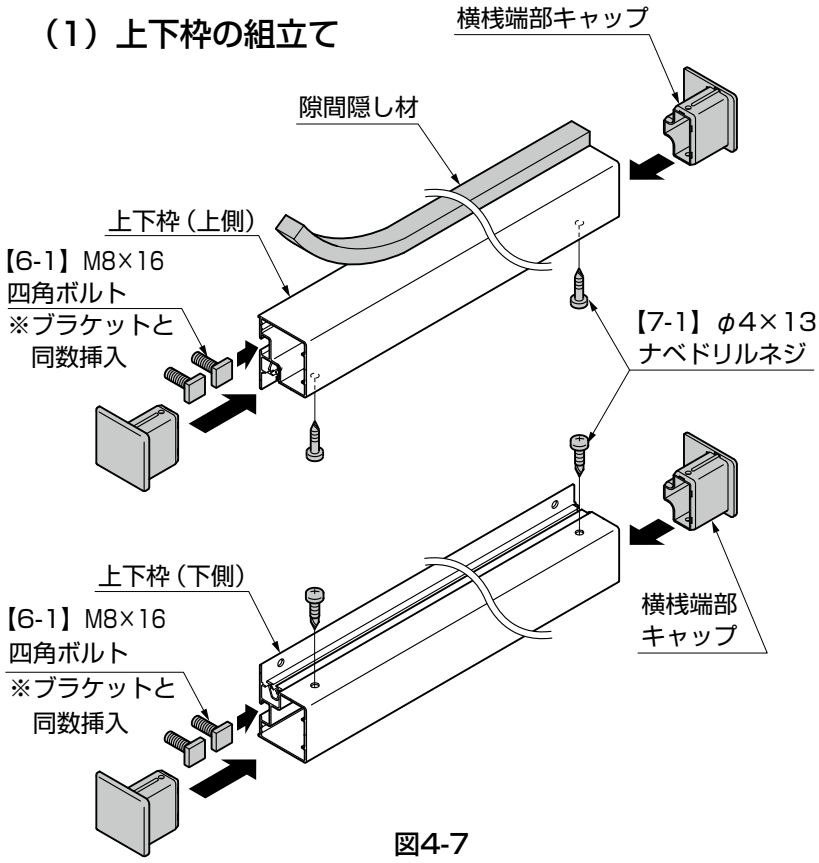


図4-7

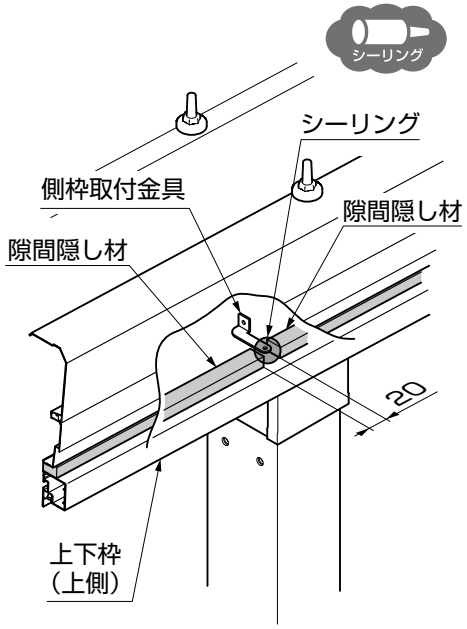


図4-8
側枠取付金具位置の
隙間隠し材の取付け

①すき間隠し材を上下枠の長さに合わせて切断してください。
②すき間隠し材を上側に取付ける上下枠に貼付けてください。

お願い

●本体で取付けている側枠取付金具の箇所は約20mmのすき間をあけてください。(側面側のみ)
●すき間をシーリングしてください。

③【6-1】をブラケットと同じ個数上下枠に差込んでください。
④横桟端部キャップを上下枠に【7-1】で取付けてください。

4.（つづき）

4-2 つづき

（2）上下枠の取付け

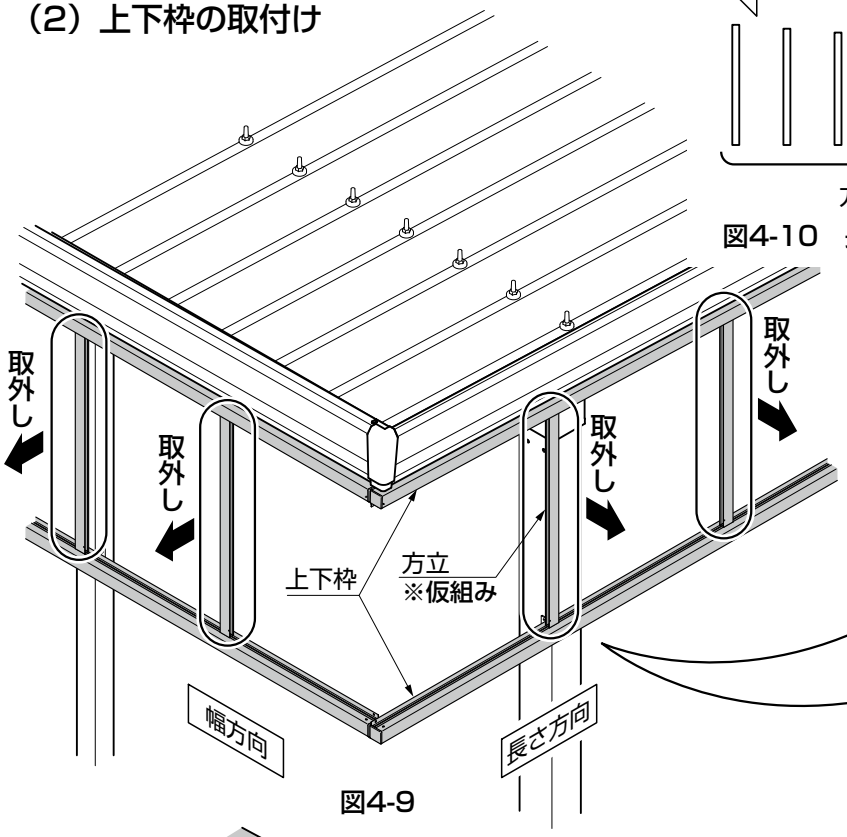


図4-9

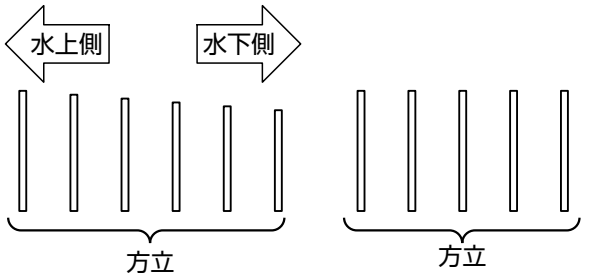


図4-10　長さ方向方立　　図4-11　幅方向方立

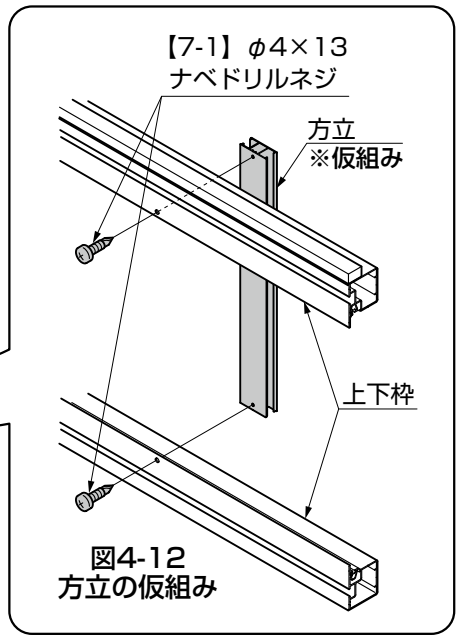


図4-12
方立の仮組み

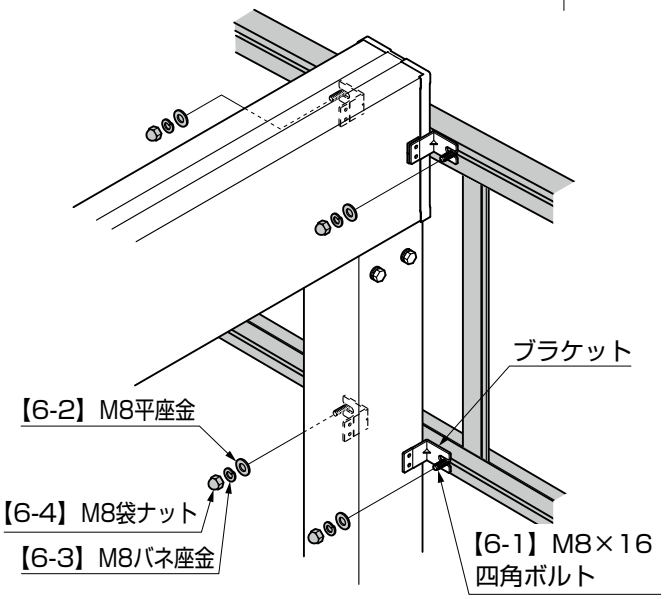


図4-13　上下枠の取付け

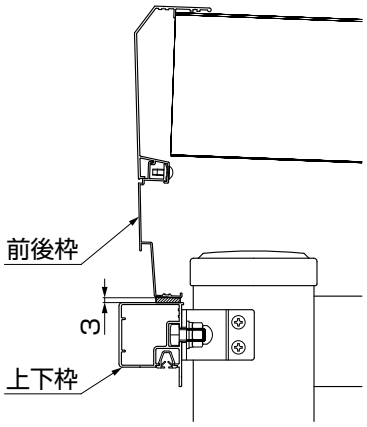


図4-14　幅方向

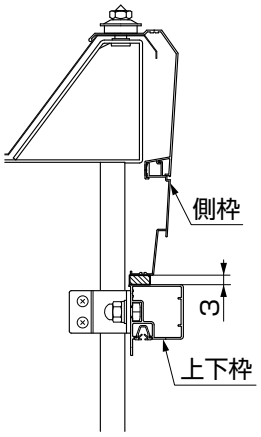


図4-15　長さ方向

①位置出しのために方立を上下枠に【7-1】で仮組みしてください。

お願い

●方立は各々長さが違います。取付け箇所を間違わないように取付け前に、長さ順にそろえてください。

②仮組みした上下枠をブラケットに【6-1】、【6-2】、【6-3】、【6-4】で取付けてください。
③仮組みしている方立を取外してください。

お願い

●取外した方立、取付けネジは再度使用しますので、必ず保管してください。

5. 標準（下段）スクリーンの取付け

5-1　ブラケットの取付け

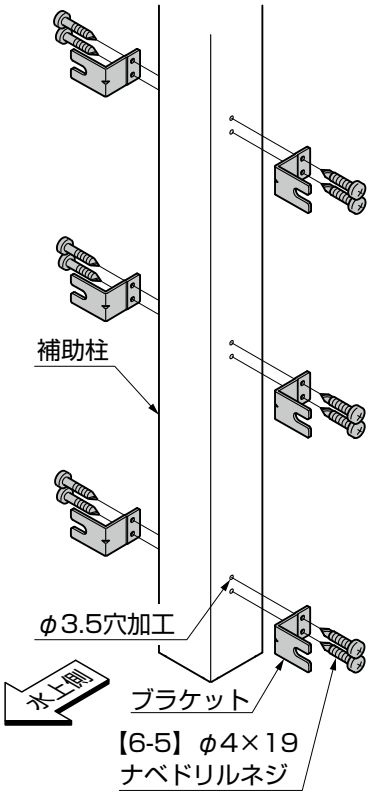


図5-1　幅方向の場合

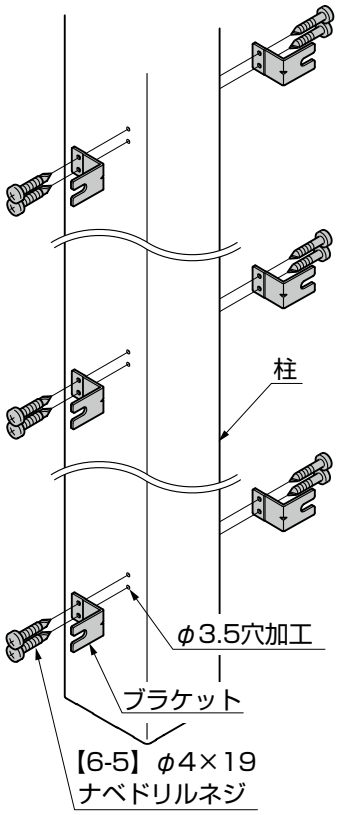


図5-2　長さ方向の場合

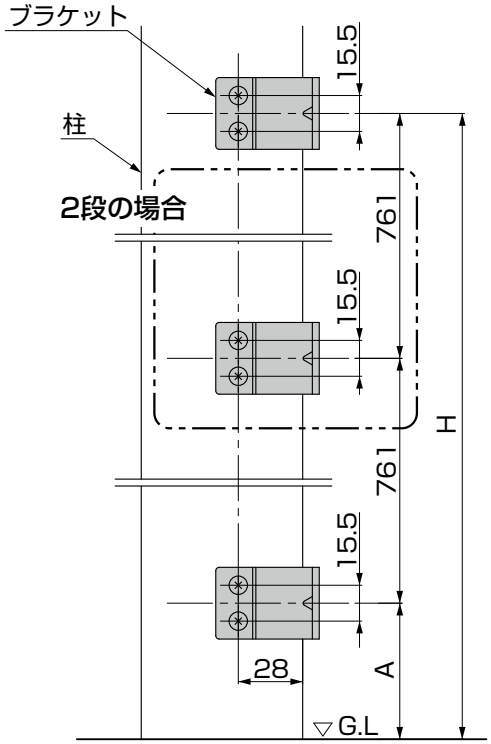


図5-3

表5-1　角柱

		H	A
標準柱	標準1段	1761	1000
	標準2段	1911	389
ロングH 25柱	標準1段	1761	1000
	標準2段	2011	489
ロングH 30柱	標準1段	1761	1000
	標準2段	2261	739

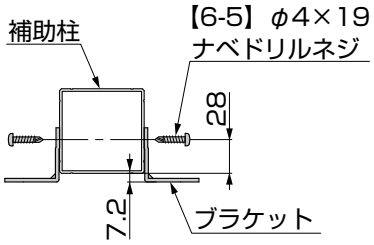


図5-4　補助柱（幅方向）

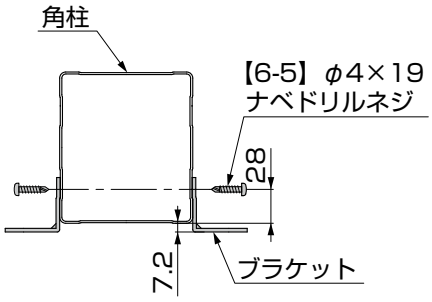


図5-5　角柱（長さ方向）

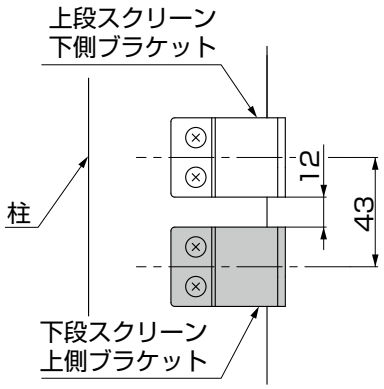


図5-6　上段スクリーンと接続する場合

①ブラケットを柱に【6-5】で取付けてください。

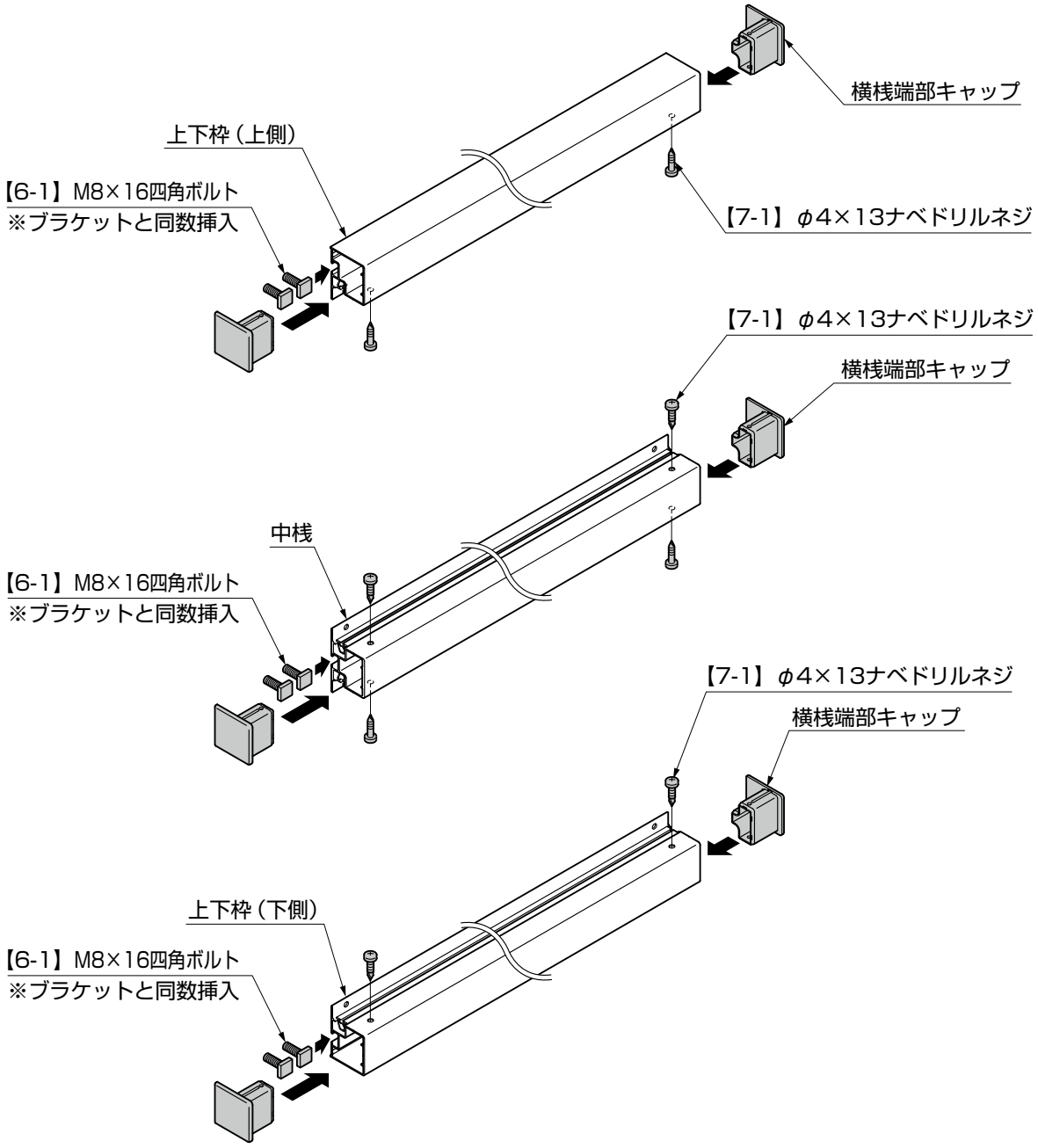
お願い

●上段スクリーンと接続する場合は、上段スクリーンブラケット位置に合わせて取付けてください。（図5-6参照）

5.（つづき）

5-2　上下枠、中桟の取付け

（1）上下枠、中桟の組立て



①【6-1】をブラケットと同じ個数上下枠、中桟に差込んでください。
②横桟端部キャップを上下枠、中桟に【7-1】で取付けてください。

5-2 つづき

（2）上下枠の取付け

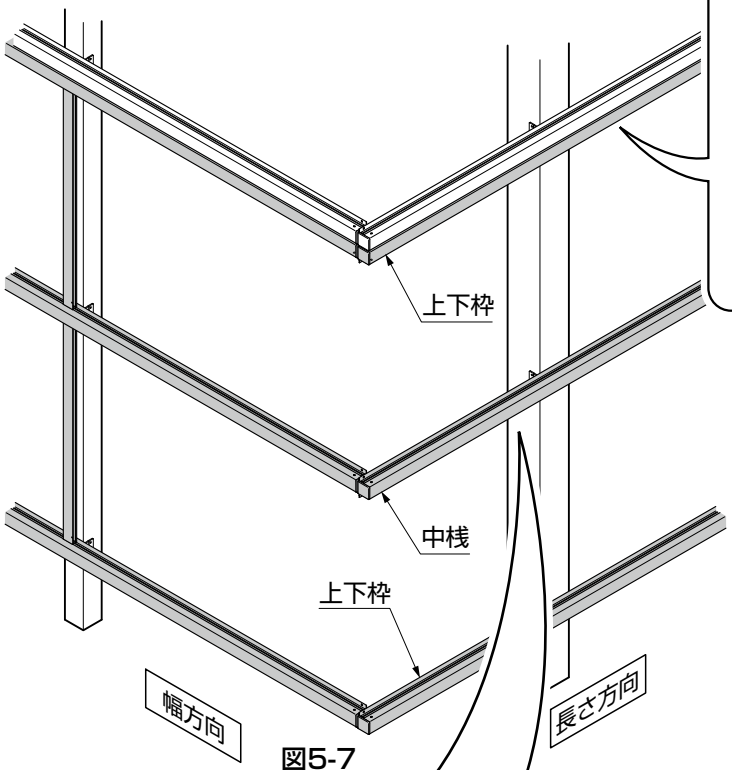


図5-7

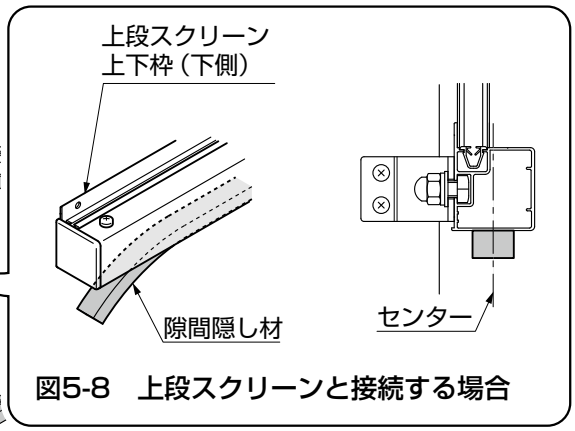


図5-8　上段スクリーンと接続する場合

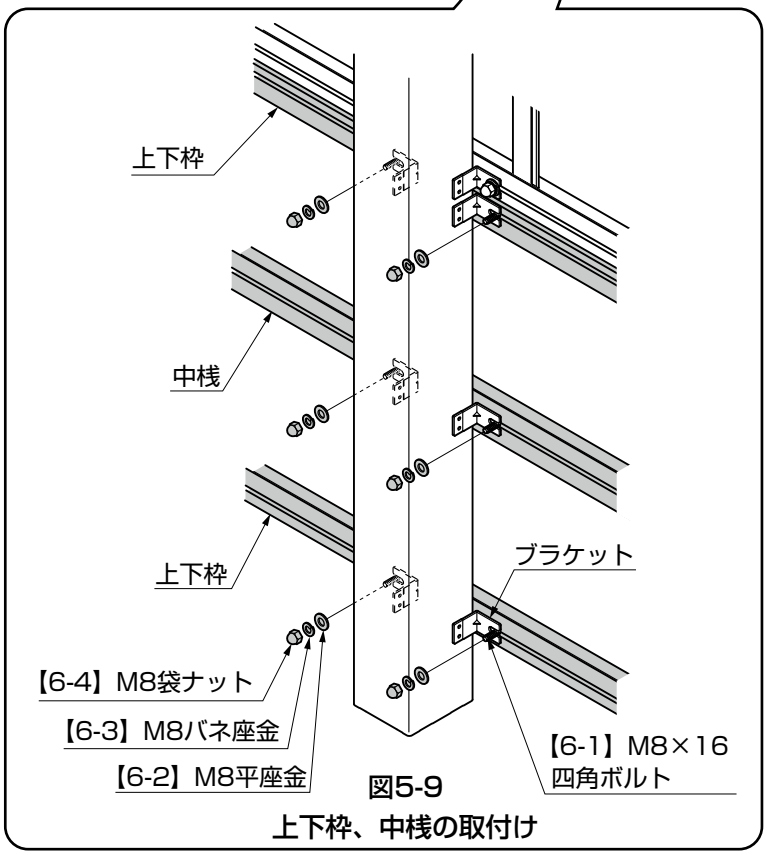


図5-9
上下枠、中桟の取付け

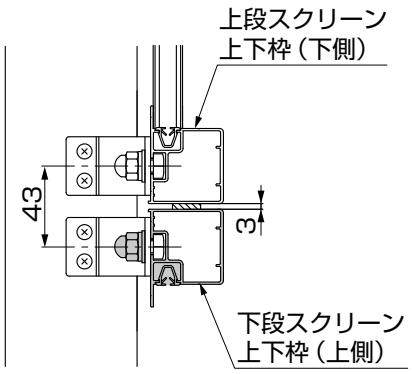
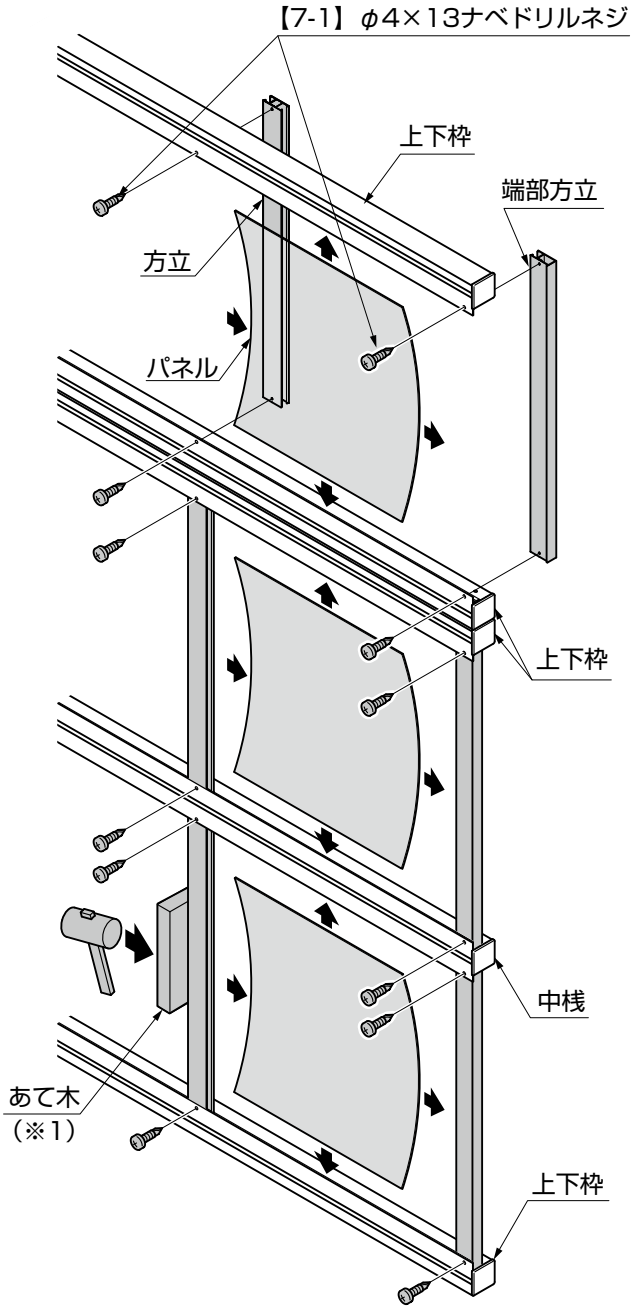


図5-10　角柱・補助柱
（上段スクリーンと接続する場合）

①上段スクリーンと接続する場合は、すき間隠し材を上下枠の長さに合わせ、上段スクリーンの上下枠下側の底面に貼付けてください。
②上下枠、中桟をブラケットに【6-1】、【6-2】、【6-3】、【6-4】で取付けてください。

6. パネルの取付け



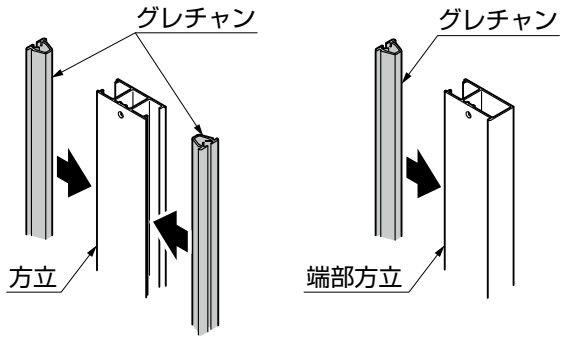


図6-1　グレチャンの取付け

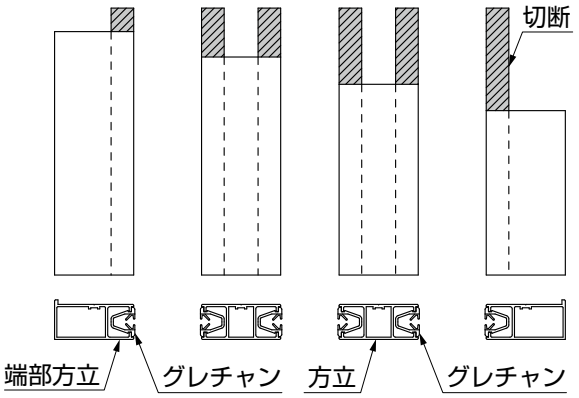
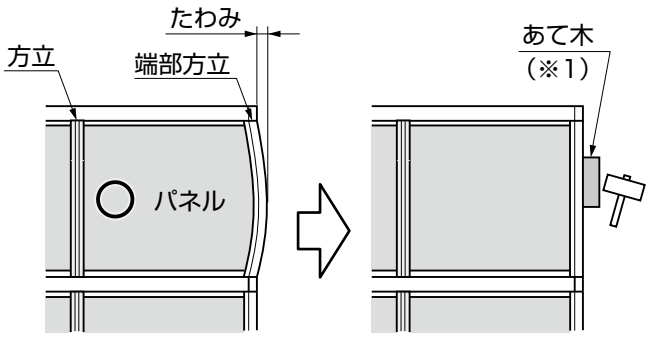


図6-2　長さ方向　上段スクリーンの場合



※たたき込み不足　※確実にパネルにたたき込む

図6-3　パネルのたたき込み

①グレチャンを端部方立、方立の各溝部へはめ込んでください。（図6-1参照）
②長さ方向　上段スクリーンの場合は、はめ込んだグレチャンを端部方立・方立の寸法に合わせて切断してください。（図6-2参照）
③端部方立を上下枠、中桟に【7-1】で取付けてください。
④パネルをわん曲させながらはめ込んでください。
⑤方立を上下枠、中桟にあてがい、パネルにスライドさせてはめ込み【7-1】で固定してください。

注 意

●端部方立・方立はあて木（※1）などを使用して、確実にパネルにたたき込んでください。たたき込みが不足すると、パネルの耐風圧強度が低下するおそれがあります。

お願い

●端から順に同様の手順を繰り返してください。
●パネルの表裏を確認してからはめ込んでください。パネルに判別シールが貼られています。
●パネル組付け後、○で囲まれたあたりを強く押してパネルが抜けないことを確認してください。はめ込みが不十分な場合は、調整してください。（図6-3参照）
●方立が柱の陰になって固定しづらい場合は横桟を一旦横にずらすなどして固定してください。

7. コーナーアングルの取付け ※囲いタイプの場合の作業です。

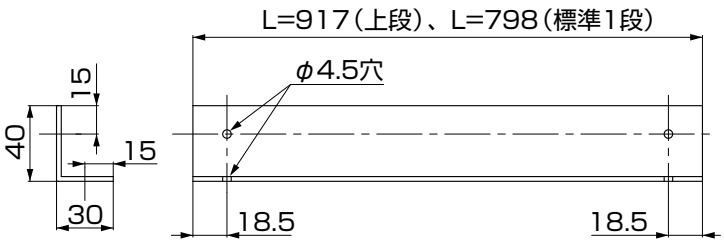


図7-1　1段の場合

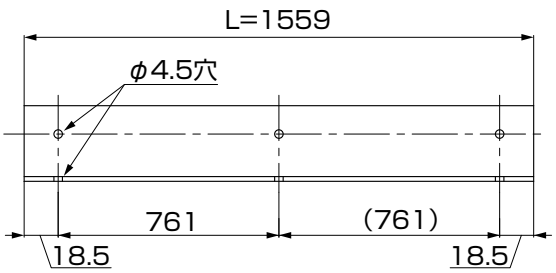
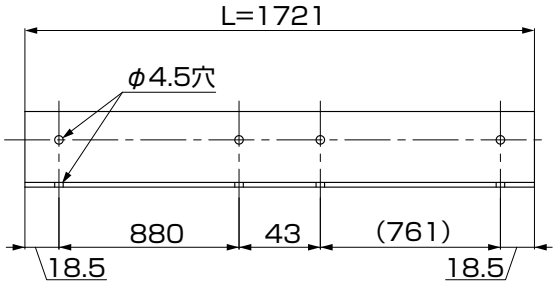


図7-2　標準2段の場合



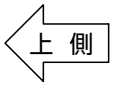
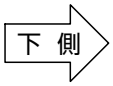
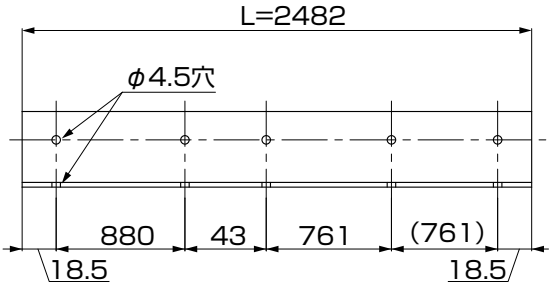


図7-3
上段+標準1段の場合





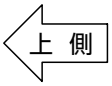


図7-4
上段+標準2段の場合

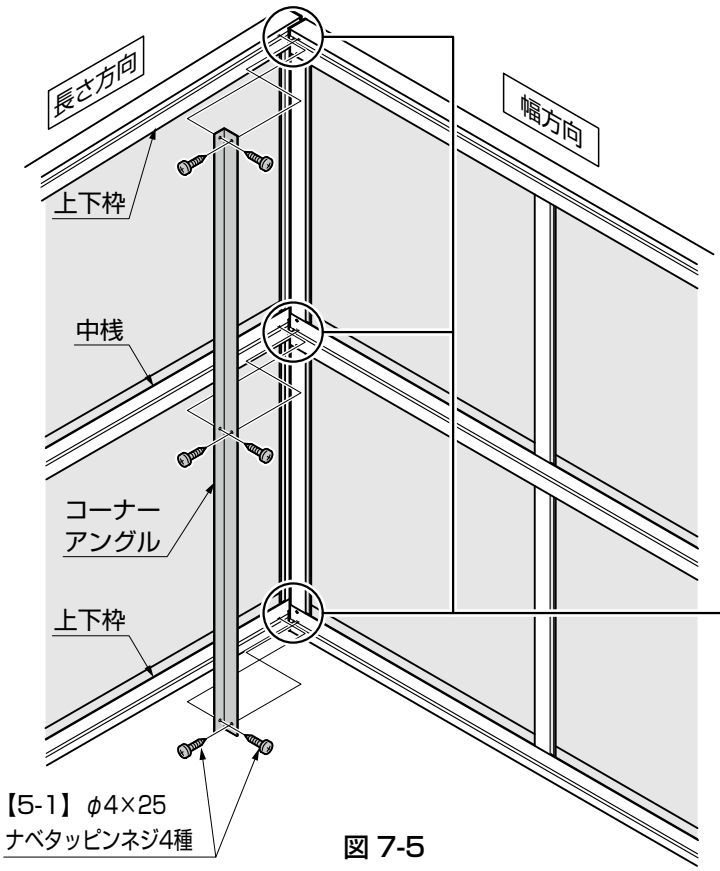


図 7-5

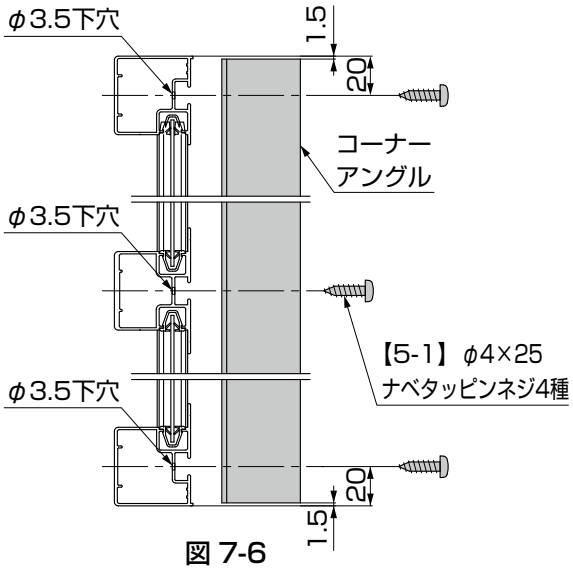
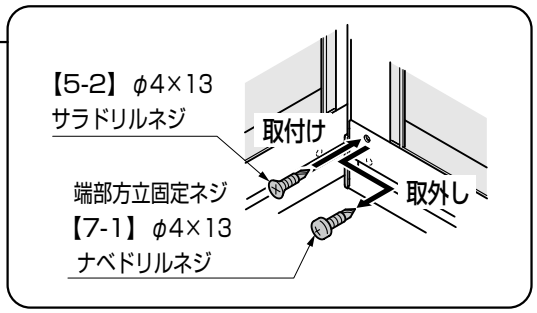


図 7-6



①コーナーアングルを接続するスクリーンに合わせて加工してください。
②幅方向の端部方立固定ネジ【7-1】を【5-2】に変えてください。
③上下枠、中桟にφ3.5下穴をあけてください。
④コーナーアングルを上下枠、中桟に【5-1】で取付けてください。

8. 縦連棟、延長の場合

8-1　上下枠、中桟の加工（縦連棟、12延長の場合）

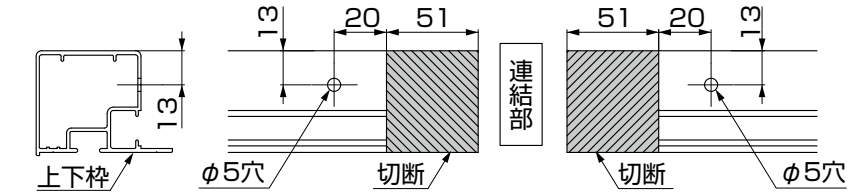


図8-1

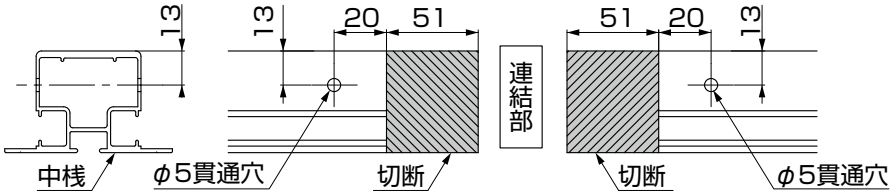


図8-2

①連結する側の端部をそれぞれ 51mm ずつ切断し穴加工をしてください。

8-2　端部方立、方立の加工（縦連棟、12延長の場合）

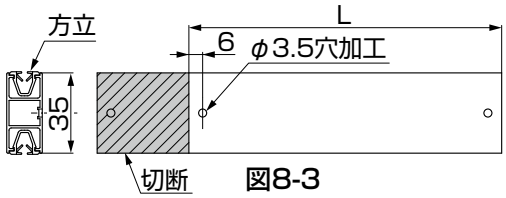


図8-3

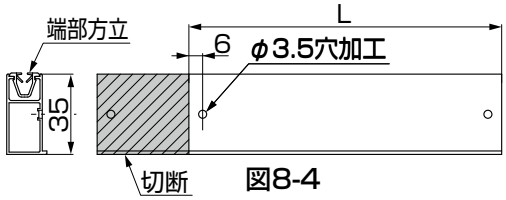


図8-4

表8-1

部材		L
長さ55＋12延長	端部方立	611
	方立❶	632
	方立❷	653
長さ60＋12延長	端部方立	591
	方立❶	612
	方立❷	633

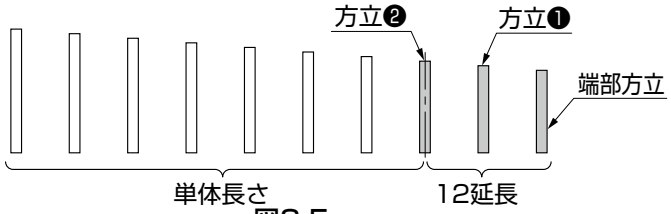


図8-5

①12延長部分の方立、端部方立をそれぞれ切断し穴加工してください。

お願い

●端部方立は単体の方立セット内の部材を切詰めしてください。

8-3　グレチャンのはめ込み（12延長の場合）

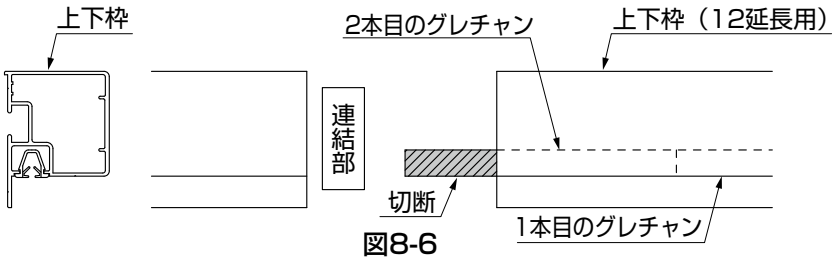


図8-6

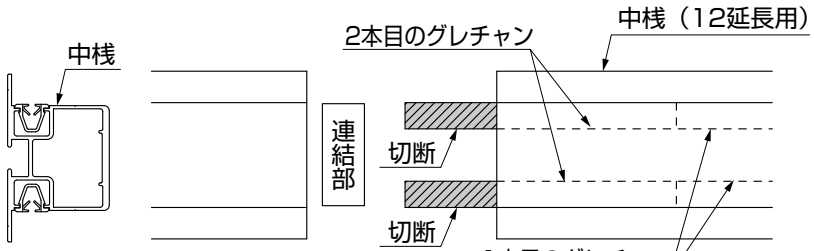
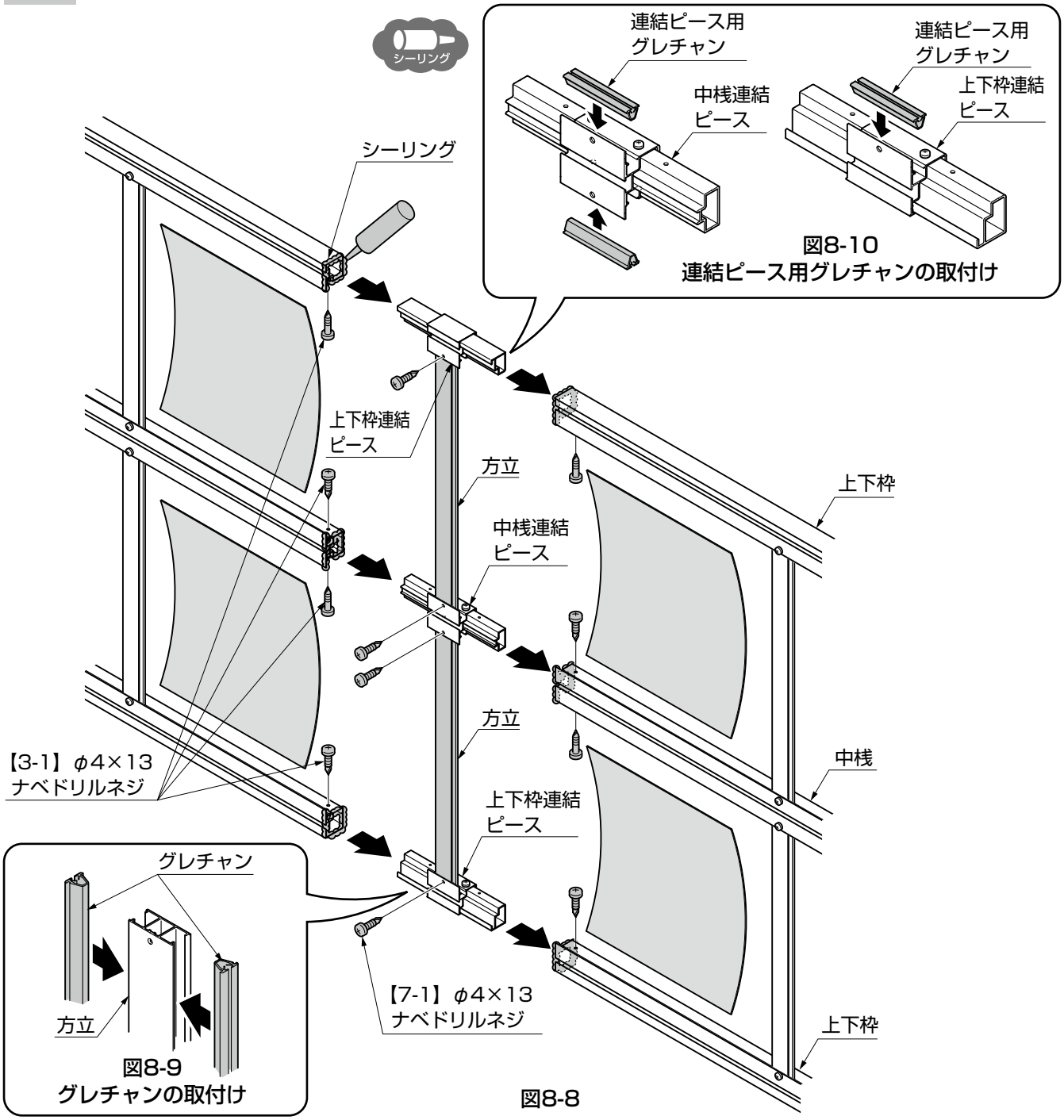


図8-7

①グレチャンを上下枠・中桟の各溝部へ 2 本ずつはめ込んでください。
②はめ込んだ 2 本目のグレチャンは、上下枠・中桟の長さに合わせて切断してください。

8-4 連結部の組立て



①連結ピース用グレチャンを中桟連結ピースと上下枠連結ピースにはめ込んでください。
②グレチャンを方立の溝部へはめ込んでください。
③方立を組立てた各連結ピースに【7-1】で取付けてください。
④上下枠、中桟の連結箇所にシーリングをしてください。
⑤上下枠、中桟を連結スリーブに【3-1】で取付けてください。

お願い

●指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
●連結ピースと横桟との連結部はズレ、すき間のないよう取付けてください。